

職場体験学習を実施

手術支援ロボット「ダヴィンチ」を地元中学生が体験!

1月24日(土)、松波総合病院にて笠松町立笠松中学校の2年生10人が職場体験をしました。当院・小林建司副院長を中心に最新鋭の内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作体験や人の腹部の模型を使い腹腔鏡手術の模擬体験をしました。ダヴィンチでは、3D映像で患部を見ながら先端に鉗子のついたアームで複数の突起物にかかったリングをつまんで移動させる操作をしたり、腹腔鏡手術では、長さ40センチの管の先端

に針付きの糸を操作し模型臓器の裂けた場所を縫合する体験をしました。

ますます医学に興味持つてもらったり・医療技術の進歩を実感して貰えましたと思います。



NST情報交換会

栄養サポートチームによる活動

NST情報交換会『NST(Nutrition Support Team):栄養サポートチーム』では、経鼻経腸栄養法の基礎的な知識や、栄養剤の選択とコスト比較、経鼻チューブと嚥下機能の関係、合併症や予防対策(とくに看護面から)、医療区分

などを当院NSTスタッフから情報提供を行うとともに、各施設の参加者の方々からの意見交換を実施しています。退院後の経鼻チューブ交換のタイミングや、チューブ閉塞や自己抜去など事故対応について合併症などの予防・管理方法、栄養



剤のコストや看護・介護面での問題点などについて意見交換を行う会です。

今後も地域一体型NSTを目指して、定期的に情報交換会を実施していきます。

講演会のお知らせ

第84回 開放型病床カンファレンス

【日時】 2015年3月6日(金)18:00~
【場所】 松波総合病院 南館 1階講堂
【テーマ】 「患者の望む感染管理」
【講師】 増田・横山法律事務所 弁護士 増田聖子

第85回 開放型病床カンファレンス

【日時】 2015年5月21日(木)20:00~
【場所】 松波総合病院 南館 1階講堂
【テーマ】 「夏場に流行る小児感染」
【講師】 江南厚生病院こども医療センター顧問 尾崎 隆男先生

外来診療のご案内

ノースウイング(北館)

●初診の方は紹介状をご持参ください。

■眼科 ■泌尿器科 ■健診科 ■リウマチ科 ■産婦人科 ■放射線科
■脳神経外科 ■神經内科 ■耳鼻咽喉科 ■リハビリテーション科 ■整形外科

紹介状をお持ちの方

■内科 ■循環器内科 ■小児科

●時間外診療はノースウイング(北館)にお越しください。

まつなみ健康増進クリニック

■外科 ■呼吸器内科 ■腎臓内科 ■皮膚科 ■呼吸器外科 ■血液内科
■大腸肛門科 ■形成外科 ■心臓血管外科

紹介状をお持ちではない方

■内科 ■循環器内科 ■小児科

3
2015 March
No.185

患者さまと病院をつなぐかけはし
まつなみ
〔発行〕社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

1月5日、年初式にて名誉院長から「教育が人をつくる。教育の松波たれ。」と訓示がありました。今回は、その松波英一名誉院長のインタビューに始まり、松波人の「学びぶり」をいくつも紹介します。理事長から中学生まで勉強中です。

「教育の松波」をモットーに学会・研修会で日々学ぶ。

当院医療の原点は「教育」にあります。優秀な医師や職員を育成するために松波総合病院では学会や研修会、各種セミナーなど積極的に参加して「学ぶ」ことを奨励しています。



松波総合病院のシンボルマークは、松波総合病院の頭文字の「M」を示します。
五個の元素が手を結んだ分子模型によって、病院(H)を支えていることを表しています。
〈五個の元素の意義〉 医術 科学 研究 教育 人間性

教育の松波たれ!

『医師は洞察力が必要である。』これは私が大学の医学部時代に教授から教わりました。

当時は貧しい時代であり高額な医療機器や検査機器などなく、また教科書でさえ無い時代でした。そのため教授にはマンツーマンで教えていただき、自らの眼で観察する洞察力を養いました。これがいまだに役立っています。たとえば、患者さんが診察室のドアを開けて入ってくるときから診察は始まっています。ドアの開け方や歩き方、何気ない仕草からも今日の

患者さんを伺い知ることが出来るでしょう。いまでも日々診察の現場に立って洞察力を磨いています。現在は週5日の内、2日は術後の患者様の診療や大腸肛門科の外来診療を行い、2日は特別養護老人ホームへ診療、1日は関連施設へ診療に出かけます。おかげさまで臨床能力が養われ、私も日々アップデートの毎日です。

また、大学時代には毎日ヒポクラテスの誓いを唱えていました。『すべての患者様へ分け隔てなく平等に診療を行う』これが私の座右の銘です。

社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 名譽院長 松波 英一



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 理事長 松波 英寿

「医」の分野を代表し、理事長が講演

2015年2月7日(土)に岐阜市文化センターにて健康科学リソース研究会(主催:一般社団法人健康科学リソースセンター)が行われました。「自分のための健康科学～農／食・薬／医からのシンポジウム～」と題し各分野の専門家による講演が行われました。

「医」の分野からは当法人松波英寿

理事長が講演を行いました。「これからの中高齢化社会に向けて近い将来には、国民一人一人が必要最低限の医療知識を有し、自分の健康は自分でケアするという『セルフメディケーション』能力が求められる」と、また「そのためには地域全体で高齢者を支える住み良い社会づくりを構想していきます」と講演しました。

